



4月の採用薬品（限定採用薬品）

トリヘキシフェニジル塩酸塩錠2mg「NIG」

パーキンソン症候群治療剤

日医工岐阜工場株式会社

【効】 【用】

＜特発性パーキンソニズム及びその他のパーキンソニズム（脳炎後、動脈硬化性）＞

通常、成人トリヘキシフェニジル塩酸塩として、第1日目1mg、第2日目2mg、以後1日につき2mgずつ増量し、1日量6～10mgを維持量として3～4回に分割経口投与する。

＜向精神薬投与によるパーキンソニズム・ジスキネジア（遅発性を除く）・アカシジア＞

通常、成人トリヘキシフェニジル塩酸塩として、1日量2～10mgを3～4回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照

※同一成分のトリヘキシフェニジル塩酸塩錠2mg「ニプロ」が販売中止のため



オンジェンティス錠25mg

末梢COMT阻害剤

小野薬品工業

【効】レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩との併用によるパーキンソン病における症状の日内変動（wearing-off現象）の改善

【用】本剤は、レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩と併用する。通常、成人にはオピカポンとして25mgを1日1回、レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩の投与前後及び食事の前後1時間以上あけて経口投与する。

【副】添付文書参照



デバケンR錠100mg

抗てんかん、躁病・躁状態、片頭痛治療剤

協和キリン株式会社

【効】 【用】 【副】添付文書参照



4月の採用薬品（限定採用薬品）

セリンクロ錠10mg

アルコール依存症飲酒量低減薬

大塚製薬

【効】アルコール依存症患者における飲酒量の低減

【用】通常、成人にはナルメフェン塩酸塩として1回10mgを飲酒の1～2時間前に経口投与する。ただし、1日1回までとする。なお、症状により適宜増量することができるが、1日量は20mgを超えないこと。

【副】添付文書参照



ベプリジル塩酸塩錠50mg「TE」

頻脈性不整脈・狭心症治療剤

トーアエイヨー株式会社

【効】 【用】

＜持続性心房細動＞

通常、成人にはベプリジル塩酸塩水和物として、1日100mgから投与を開始し、効果が不十分な場合は200mgまで増量し、1日2回に分けて経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜減量する。

＜頻脈性不整脈（心室性）及び狭心症＞

通常、成人にはベプリジル塩酸塩水和物として、1日200mgを1日2回に分けて経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【副】添付文書参照



ノリトレン錠10mg

情動調整剤

住友ファーマ

【効】精神科領域におけるうつ病およびうつ状態

（内因性うつ病、反応性うつ病、退行期うつ病、神経症性うつ状態、脳器質性精神障害のうつ状態）

【用】はじめ1回量としてノルトリプチリン10～25mg相当量を1日3回経口投与する。又はその1日量を2回に分けて経口投与する。その後、症状および副作用を観察しつつ、必要ある場合は漸次増量する。通常最大量は1日量としてノルトリプチリン150mg相当量以内であり、これを2～3回に分けて経口投与する。

【副】添付文書参照



4月の削除薬品：なし

